



# 平成 24 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 24 年 2 月 9 日

上場会社名 新田ゼラチン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4977 URL <http://www.nitta-gelatin.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾我 憲道  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務部長 (氏名) 佐々木 恒雄 (TEL) 072 (949) 5381  
 四半期報告書提出予定日 平成 24 年 2 月 13 日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 24 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	20,870	—	1,620	—	1,518	—	906	—
23 年 3 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 3 四半期 474 百万円 (—%) 23 年 3 月期第 3 四半期 ー百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24 年 3 月期第 3 四半期	68.56	—
23 年 3 月期第 3 四半期	—	—

(注) 当社は、平成 23 年 3 月期第 3 四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成 23 年 3 月期第 3 四半期の記載及び平成 24 年 3 月期第 3 四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 3 四半期	22,754	7,478	32.5
23 年 3 月期	21,466	6,185	28.5

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 3 四半期 7,403 百万円 23 年 3 月期 6,125 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	3.75	—	3.75	7.50
24 年 3 月期	—	2.00	—	—	—
24 年 3 月期(予想)	—	—	—	8.00	10.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成 24 年 3 月期期末配当金の内訳 普通配当 6 円 00 銭 記念配当 2 円 00 銭  
 3. 当社は、平成 23 年 4 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。

## 3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	28,194	1.0	2,060	38.5	2,017	45.8	1,308	24.4	94.84

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2. 平成 24 年 3 月期の業績予想の 1 株当たり当期純利益は、平成 24 年 1 月 13 日付で発表いたしました「第三者割当増資の結果に関するお知らせ」による第三者割当増資分 (255,200 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料3頁「2. サマリー情報（その他）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期3Q	15,514,874株	23年3月期	12,733,874株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	92株	23年3月期	219,006株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期3Q	12,814,808株	23年3月期3Q	—株

(注) 平成23年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、23年3月期の期末発行済株式数及び期末自己株式数を算定しております。

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成23年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

・平成24年3月期の業績予想の1株当たり当期純利益は、平成24年1月13日付で発表いたしました「第三者割当増資の結果に関するお知らせ」による第三者割当増資分（255,200株）を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は、中国やインドが牽引するアジア圏の経済成長に対し、ユーロ圏の政府債務危機等による先進国の景気の後退・減速という二極化傾向が強まりました。一方、国内経済は、東日本大震災の影響から立ち直り、着実な持ち直しの動きが見られました。しかし、金融危機やタイの水害等による海外経済の混乱や長引く円高の影響から、回復のペースは緩やかであり、先行きの不透明感が払拭されず、依然厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、① お客さま第一主義 ② グローバル&イノベーション ③ 選択と集中を経営の基本方針として、お客様にご満足いただける製品・サービスの提供、新製品開発や新市場開拓に積極的に取り組み、厳しい環境の克服に注力してまいりました。その結果、震災需要等を要因とする国内の食品市場の伸びに支えられ、ゼラチン、食品材料が堅調に推移し、売上高は、208億7千万円となりました。また、営業利益は16億2千万円、経常利益は15億1千8百万円、四半期純利益は9億6百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① コラーゲン素材事業

ゼラチンは、国内では、下期においても食品市場が引き続き堅調で、コンビニのレンジアップ総菜やチルドデザート用、ヨーグルト等の乳製品用、グミキャンデー等の製菓用を中心に、食用ゼラチンが好調に推移いたしました。一方、カプセル用ゼラチンは、医薬向けが市況の影響から低迷いたしましたが、健康食品向けが堅調に推移いたしました。また、写真用ゼラチンは、堅調に推移いたしました。海外市場では、カプセル用ゼラチンが、医薬・健康食品用ともに堅調で、震災需要等から日本市場への製品供給を優先した結果、日本からの輸出版売高は減少いたしました。海外法人での売上は好調に推移いたしました。

コラーゲンペプチドは、国内では、震災による栄養補助食品の消費マインドの低下や一部の企画商品の終売により売上が減少したほか、原発事故による日本製品の輸出制限の影響から、アジア地域への輸出版売高も減少いたしました。

コラーゲンケーシングは、米国の畜肉製品市場が好調で、サラミソーセージ等のスナック用、フランクフルト等のソーセージ用ともに順調に推移いたしました。また、欧州向けの輸出用も堅調となりました。

その結果、コラーゲン素材事業の売上高は、130億1千9百万円となり、セグメント利益は18億1千1百万円となりました。

#### ② フォーミュラソリューション事業

食品材料は、国内の堅調な食品市場に支えられ、コンビニ向けチルドゼリーやデザート用のゲル化剤のほか、タレやスープ用製剤、ハム・ソーセージ、肉まん等の畜肉製品向けの品質安定剤が好調に推移いたしました。

接着剤は、ホットメルト形接着剤について、飲料、即席麺、製菓等の食品業向けを主とする包装用や建材用が堅調に推移いたしました。しかし、製本用は、出版業の低迷から売上が減少いたしました。

その結果、フォーミュラソリューション事業の売上高は、78億5千万円となり、セグメント利益は8億1千6百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比12億8千8百万円増加し、227億5千4百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末比18億9百万円増加の146億7千7百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が7億8千9百万円増加、受取手形及び売掛金が5億9千3百万円増加したこと、たな卸資産が4億4千9百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末比5億2千1百万円減少の80億7千6百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が2億8千8百万円減少したこと、株安の影響により投資有価証券が2億2千1百万円減少したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末比6千3百万円増加の88億2千8百万円となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が2億1千3百万円増加し、1年内償還予定の社債が1億円増加した一方で、支払手形及び買掛金が1億2千4百万円減少し、短期借入金が1億4千4百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末比6千8百万円減少の64億4千8百万円となりました。主な要因は、長期借入金4億3千2百万円増加した一方で、社債が3億3千万円減少し、退職給付引当金が1億5千6百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比12億9千2百万円増加の74億7千8百万円となりました。主な要因は、公募増資により資本金が6億4千3百万円、資本剰余金が6億6千1百万円それぞれ増加し、利益剰余金が3億3千万円増加した一方で、前連結会計年度末から円高が進み為替換算調整勘定が4億6千5百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は32.5%（前連結会計年度末は、28.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年12月20日に公表いたしました業績予想の数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

(3) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,558,156	2,347,857
受取手形及び売掛金	5,621,843	6,215,205
商品及び製品	3,500,848	3,938,155
仕掛品	611,779	549,185
原材料及び貯蔵品	1,258,039	1,333,120
その他	329,272	309,826
貸倒引当金	△11,556	△15,373
流動資産合計	12,868,383	14,677,977
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,644,724	2,492,160
機械装置及び運搬具（純額）	1,283,236	1,097,398
その他（純額）	1,609,860	1,659,650
有形固定資産合計	5,537,820	5,249,208
無形固定資産		
その他	20,291	18,581
無形固定資産合計	20,291	18,581
投資その他の資産		
投資有価証券	2,082,348	1,860,890
その他	957,844	948,952
貸倒引当金	△28	△644
投資その他の資産合計	3,040,164	2,809,198
固定資産合計	8,598,276	8,076,988
資産合計	21,466,660	22,754,965

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,537,025	3,412,533
短期借入金	1,047,045	902,502
1年内返済予定の長期借入金	1,695,715	1,908,973
1年内償還予定の社債	260,000	360,000
未払法人税等	183,972	222,666
賞与引当金	209,092	102,644
その他	1,832,349	1,919,392
流動負債合計	8,765,200	8,828,712
固定負債		
社債	530,000	200,000
長期借入金	3,386,081	3,818,658
退職給付引当金	2,162,238	2,006,155
役員退職慰労引当金	32,122	33,359
その他	405,947	390,072
固定負債合計	6,516,389	6,448,246
負債合計	15,281,590	15,276,958
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	875,000	1,518,106
資本剰余金	677,742	1,339,618
利益剰余金	6,090,515	6,420,559
自己株式	△82,522	△34
株主資本合計	7,560,736	9,278,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408,627	383,834
繰延ヘッジ損益	2,058	△25,460
為替換算調整勘定	△1,180,055	△1,645,362
在外子会社の年金債務調整額	△665,803	△587,434
その他の包括利益累計額合計	△1,435,173	△1,874,422
少数株主持分	59,507	74,179
純資産合計	6,185,070	7,478,007
負債純資産合計	21,466,660	22,754,965

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	20,870,294
売上原価	15,607,080
売上総利益	5,263,213
販売費及び一般管理費	3,642,705
営業利益	1,620,507
営業外収益	
受取利息	566
受取配当金	16,950
持分法による投資利益	74,240
その他	52,084
営業外収益合計	143,841
営業外費用	
支払利息	132,285
為替差損	50,025
株式公開費用	44,726
その他	18,881
営業外費用合計	245,919
経常利益	1,518,430
特別利益	
固定資産売却益	268
特別利益合計	268
特別損失	
固定資産除却損	20,000
投資有価証券評価損	10,246
ゴルフ会員権評価損	4,500
特別損失合計	34,746
税金等調整前四半期純利益	1,483,951
法人税等	570,323
少数株主損益調整前四半期純利益	913,628
少数株主利益	7,109
四半期純利益	906,518



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	913,628
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△24,401
繰延ヘッジ損益	△9,761
為替換算調整勘定	△277,495
在外子会社の年金債務調整額	78,369
持分法適用会社に対する持分相当額	△205,934
その他の包括利益合計	△439,223
四半期包括利益	474,404
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	467,269
少数株主に係る四半期包括利益	7,135

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

① 当社は、平成23年4月27日開催の取締役会において、当社が発行するA種優先株式を下記のとおり取得及び消却することを決議いたしました。これにより、利益剰余金が527,980千円減少しております。

取得及び消却した株式の種類	A種優先株式
取得及び消却した株式の数	1,000,000株
取得及び消却日	平成23年5月23日

② 当社は、平成23年12月19日を払込期日とする有償一般募集増資による新株式発行2,781,000株及び自己株式の処分219,000株により、資本金が643,106千円、資本剰余金が661,876千円増加し、自己株式が82,517千円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が1,518,106千円、資本剰余金が1,339,618千円となっております。

## (5) 重要な後発事象

当社は、平成23年11月15日及び平成23年12月2日開催の当社取締役会において、SMB C日興証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式発行を決議し、平成24年1月18日に払込が完了いたしました。その概要は次のとおりであります。

1. 発行株式数	普通株式	255,200株
2. 割当価格	1株につき	462.50円
3. 割当価格の総額		118,030千円
4. 増加する資本金及び 資本準備金に関する事項	増加する資本金 増加する資本準備金	1株につき 1株につき
		231.25円 231.25円
5. 資本組入額の総額		59,015千円
6. 割当先及び割当株式数	SMB C日興証券株式会社	255,200株
7. 払込期日	平成24年1月18日	
8. 資金使途	ゼラチン一般生産設備更新他、コラーゲンペプチド生産設備及びコラーゲンケーシング生産設備に充当する予定であります。	